

ホタテガイ採苗速報

さらに成熟が進んでいます

平成23年2月2日～7日に湾内7地点で養殖2年貝の母貝調査を、平成23年2月1日～4日に東湾の3地点で地まき貝の母貝調査を、平成23年2月4日に久栗坂実験漁場および川内実験漁場で半成貝（平成22年産貝）の母貝調査を、平成23年1月27日に湾内9定点でホタテガイ等のラーバ予備調査をそれぞれ行ったので、その結果をお知らせします。

1 ホタテガイ母貝調査結果

養殖2年貝の生殖巣指数は、西湾平均で22.9と、平年（20.5）よりもやや高く、全湾平均では23.2、東湾平均では23.4と、平年（全湾22.2、東湾23.9）とほぼ同じ状況となっています（図1～3）。各地の測定結果は表1のとおりです。

地まき貝の生殖巣指数は、東湾平均で18.0と、平年（16.8）とほぼ同じ状況となっています（図4）。各地の測定結果は表2のとおりです。

半成貝（平成22年産貝）の生殖巣指数は、久栗坂実験漁場で8.5と、平年（10.7）よりもやや低い状況となっており、川内実験漁場では6.8でした（表3、図5）。

2 ホタテガイ等ラーバ予備調査結果

1月27日のホタテガイラーバは、全湾平均で0個/トンと、まだ出現していませんでした。

ムラサキガイのラーバ出現数の全湾平均値は、154個/トン、キヌマトイガイでは946個/トンと、いずれも昨年同期（2月8日）調査時（それぞれ50個/トン、75個/トン）よりも多い値でした。

3 海況

2月1日～5日の陸奥湾の水温は平館ブイで6.3～7.9℃、青森ブイで5.2～5.3℃、東湾ブイで3.7～3.8℃で、平年と比べると、平館ブイの1m層ではなはだ低め、15m層および30m層でかなり低め、底層でやや低め、青森ブイの全層でかなり低め、東湾ブイの全層でやや低めとなっています。

4 今後の見込み

成熟は全湾的にさらに進んでいます。今後急激に水温が上昇すると、産卵が始まる可能性があります。産卵時期については今後の情報を参考にしてください。

また、今年は母貝数が例年よりも少ないため、ラーバの出現数も少ないことが予想されますので、効率よく稚貝を確保するために採苗器を例年よりも多めに準備してください。

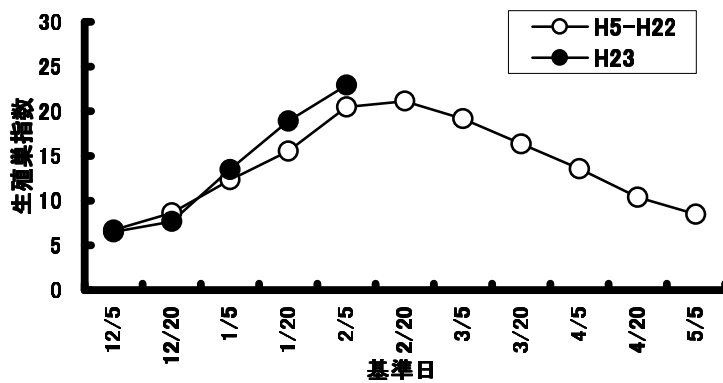


図1 養殖2年貝の生殖巣指数の変化(西湾平均)

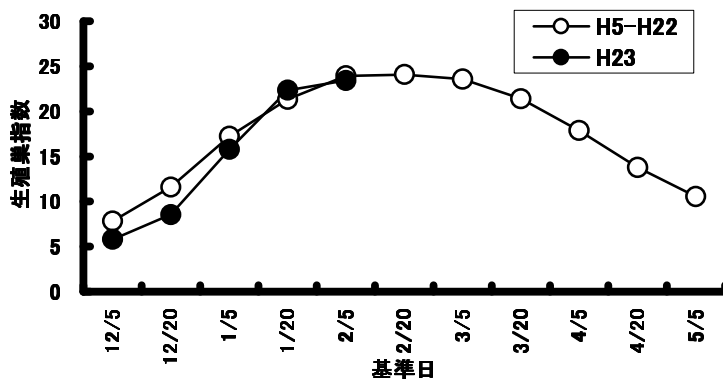


図2 養殖2年貝の生殖巣指数の変化(東湾平均)

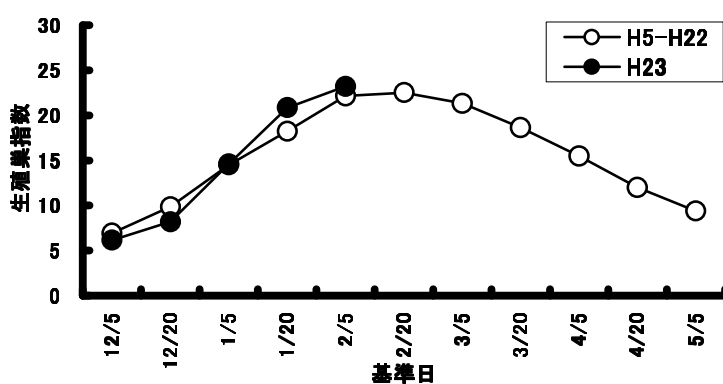


図3 養殖2年貝の生殖巣指数の変化(全湾平均)

広がる海の知識!

身につける新たな技術! 漁業後継者育成研修『賓陽塾』

塾生募集中!! 詳しくは水産総合研究所 ほたて貝部まで

発行元: 地方独立行政法人

青森県産業技術センター 水産総合研究所

住所: 青森県東津軽郡平内町大字茂浦字月泊10

TEL: 017-755-2155 FAX: 017-755-2156

ホームページURL: <http://www.aomori-itc.or.jp/>

携帯電話URL: <http://www.aomori-itc.or.jp/index.php?id=2224>

